水産放浪歌

の女性に恋するを純情の恋と誰が言うぞ。

響さ ア 女の膝枕にて一夜の快楽を共に過さずんば人生夢もなければ恋もなし。ホヒネな ロッサートーター トールートー トートートートード にんせいゅう るないあいらいめい 握る舵輪 睨むコンパス六分儀

吾らが水産放浪歌 吾ら海行く鴎鳥 さらば歌わん哉

友よ兄等よ何時また会わんともけいらいっ 母を見捨てて浪越えてゆく 男と生れて情はあれ 心猛くも鬼神ならず

大和男子が心に秘めてやまとおのこ ここる ひ 行くや万里の荒波越えてゅうがある

続く海原一筋道を 朝日夕日をデッキに浴びてタッピス゚゚゚

> 男多恨の身の捨てどころ 波の彼方の南氷洋

胸に秘めたる大願あれど 行きて帰らじ望みは待たじゅ

(仲田三孝作詞、 成立事情不明なるも蒙古放浪歌 換え歌と推定される。 川上義彦作曲)の

注